



平成 29 年 7 月 25 日

各 位

会 社 名 **株式会社インテリックス**
代表者名 代表取締役社長 山本 卓也
(コード 8940 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 鶴田 豊彦
T E L 03-5766-7639

取締役会の実効性評価に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンス・コードに基づき、取締役会の実効性を高め、取締役会の機能向上を図ることで、より一層の企業価値を向上させることを目的とし、この度、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1. 分析・評価の方法

当社取締役会は、平成 29 年 4 月から平成 29 年 6 月にかけて、すべての取締役・監査役に対して以下の検討項目に関して無記名方式の評価アンケートを実施して回答を得ました。この回答結果に基づいて、取締役会事務局（経営企画部）にて集計しました評価結果に対し、取締役会において分析及び課題認識の共有を図るとともに建設的な議論を重ね、今後の取り組みなどについて確認いたしました。

【 アンケートの分析・評価項目 】

- (1) 取締役会の役割
- (2) 取締役会の構成のあり方
- (3) 独立社外取締役の活用のあり方
- (4) 取締役会の付議基準のあり方
- (5) 役員に対するトレーニングのあり方
- (6) 取締役会評価のあり方

2. 分析・評価結果の概要

取締役・監査役から提出されたアンケートの分析・評価を踏まえて討議しました結果、取締役会の実効性は概ね確保され機能しているものと評価しております。

なお、取締役会のスケジュールや議長の進行及び審議事項については適切であると評価する一方で、運営方法等に改善の余地があると認められ、今後の改善課題として以下のとおりであると認識を共有しました。

【 今後の改善課題 】

- (1) 今後の事業規模を勘案して、業務執行者に対する監督機能の強化に向け、取締役会の構成員の人員数と多様化を検討していく。
- (2) グループ事業戦略並びに新規事業等の詳細な事業計画や事業部別採算等に関しては、議案への深い理解と活発な議論に基づいた意思決定を促進するため、取締役会資料の事前配布の早期化及び内容の充実化を図る。
- (3) 将来の経営を担う人材の養成を積極的に図り、後継者計画の課題に対し、中長期視点で着実に取り組んでいく。
- (4) 「指名委員会」や「報酬委員会」等の任意の委員会設置の取り組みを検討する。

3. 今後の対応について

上記の評価結果を踏まえ、取締役会の最適構成の検証及び重要な課題や議案に対しての議論の充実を図ることにより、取締役会運営の実効性を高め、コーポレートガバナンスの一層の強化に努めてまいります。

以 上